

# 令和7年度小学校教科教育推進研修（国語科）研修成果物

指導者 竹原市立中通小学校 望月 友和  
第6学年 1組 16名

## 1 単元名 プラスチックごみの問題について考えよう

「永遠のごみ」プラスチック（東京書籍「新編 新しい国語 六」）

## 2 単元について

### (1) 教材観

本単元は、小学校学習指導要領（平成29年告示）国語第5学年及び第6学年の〔思考力、判断力、表現力等〕C読むことの指導事項「オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。」を受けて設定している。

「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる」力を育成するには、文章の構造と内容を捉え、精査・解釈しながら考えたり理解したりしたことに基づいて、既存の知識と経験を結び付けて考えを形成することが必要となる。

本単元で扱う教材文「永遠のごみ」プラスチックで扱われている海洋プラスチック問題は、自分たちの住む町の近くに瀬戸内海があり、海の生き物へ関心が高い児童にとっては、「知りたい、読んでみたい」という意欲を喚起しやすい教材である。また、近隣の海水浴場でごみ拾いをした体験もあることからその体験と結び付けて課題意識や意欲をもちやすい教材であると考えられる。

主たる教材文「永遠のごみ」プラスチックは、結びの部分に「大人も子供もみんなで考え、行動に移しましょう。」と読者へ呼びかける文があるため、児童にとって「自分には何ができるだろう。」と、文章を読んで理解したことに對して、自分の考えを形成しやすいと考える。また、教材文の展開も、正しく廃棄されずに海洋流出したプラスチックが環境に与える影響や仕組みについて解説した上で、一人一人ができる取り組みについての提案が具体的に述べられており、児童が自分たちの住む町の状況や日常生活とつなげて考えることができ、「もっと色々な取り組みを調べ、自分達も実行していくことを考えてみたい」と思える内容となっている。

さらに、2つの資料と教材文を結び付けて読むことで、プラスチックごみの問題について、より多面的に考えることができる。

このように、筆者の主張と自分の知識や体験したことを結び付けながら自分の考えをまとめることに適した教材であると考えられる。

### (2) 児童観

本学級の児童は、説明的な文章「イースター島にはなぜ森林がないのか」を読む学習において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして読み、論の進め方について考える学習をした。学習の中で、筆者の主張に対して自分の考えを書く活動にも取り組んだ。

本単元でも、この経験を基に教材文を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを形成していくことが考えられる。

自分の考えを形成することに係る児童実態は、以下の通りである。

#### <自分の考えを形成することに係る児童実態 5～6月>

- ① 筆者の主張に対する自分の考えを書く：68.8%【11人／16人中】
- ② 文章を読んで理解したことに基づいて考えをもつ：68.8%【11人／16人中】

#### <単元末テスト（説明的な文章）の正答率 5月>

- ① 説明的な文章の文章全体の構成を捉えて要旨を把握する。：87.5%【14人／16人中】
- ② 説明的な文章を読んで理解したことに基づいて考えをもつ：68.8%【11人／16人中】

以上の結果から、文章を読んで理解することはある程度できるものの、理解したことに基づいて自分の考えをもつことに課題がある。自分の考えをもてない理由としては、教材文と児童自身の既存の知識や経験をつなげながら読むことができず、考えを形成することにつながる課題意識をもてていなかったのではないかと考える。今回の教材文においてもプラスチックのごみ問題に対して内容は理解できても、課題意識をもちながら読むことができず、文章を読んで理解したことに對する自分の考えの形成に至らない児童が多いことが予想される。

### (3) 指導観

指導に当たっては、単元の導入で児童がプラスチックごみの問題に対して「自分たちにできることはないか」と考えながら学習をし始めることができるようにするために、プラスチックごみによって海が汚れ、生き物に影響を与えている映像資料を視聴させるとともに、学校司書と連携し、プラスチックごみの問題や環境問題に関する図書資料等を用意し、題材に関する関心や知識を広げる。また、総合的な学習の時間と関連させ、地域の海辺のごみ拾いを行い、自分たちの住む地域のプラスチックごみ問題についての関心や課題意識を高め、体験したことと教材を結び付けて考えることができるようにしていく。

また、本文の段落のまとめや構成、資料①と②が本文のどの部分とつながっているのか理解させるために段落構成図にまとめさせる。作成した段落構成図を用いながらプラスチックごみの問題点を整理することで筆者の主張をとらえ、筆者の主張に対して自分の考えをもつことができるようにしていく。自分の考えをまとめていく際には、筆者の主張と自分の考えを結び付けてまとめていくができるように[今までプラスチックに対してもっていたイメージ][「永遠のごみ」プラスチックを読んで分かったこと][読んで分かったことに対する自分の考え][自分の体験や調べたこと※調べたことの出典][決意(取り組んでいくこと)]のように視点を示し、自分の考えをまとめていくようにする。

書き終えた後も実際に取り組んでいくことを意識させながら「自分ごとになっているか」「本当に実行可能か」といった視点で自分の入力した文章をまとめ直すように指導していく。

単元のまとめとして、プラスチックごみの問題の解決に向けて自分が取り組んでいくことを伝え合うことやその後、総合的な学習の時間で他学年にもプラスチックごみの問題の解決に向けて自分の取り組んでいくことを伝えていく場を設定する。

### 3 単元の目標

- 文章の構成や展開について理解することができる。〔知識及び技能〕((1)カ)
- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)オ
- 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕

### 4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
文章の構成や展開について理解している。((1)カ)	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ)	進んで文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをもち、学習課題に沿って、書きまとめようとしている。

〈評価の具体及び手立て〉

	<p>評価規準【「おおむね満足できる」状況（B）】 ◎評価方法</p>	<p>「努力を要する」 状況（C）と判断 した児童への指導 の手立て</p>																																																																																																																								
<p>文章の構成や展開について理解している。（（1）カ）</p> <p>知識・技能</p>	<p>◎ワークシート(段落構成図) 教材文の要旨を踏まえ、本文が序論、本論、結論の構成になっていることや、本文の段落と段落のつながりを理解し、段落構成図に表すことができている。</p> <table border="1" data-bbox="470 488 1181 840"> <thead> <tr> <th colspan="12">【永遠のこみ】プラスティック 段落構成図</th> </tr> <tr> <th>序論</th> <th colspan="3">本論①</th> <th colspan="3">本論②</th> <th colspan="3">本論③</th> <th colspan="2">結論</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>序論の要旨</td> <td colspan="3">プラスティックごみの問題を解決するために私たちにできること</td> <td colspan="3">プラスティックごみが「蓄ったごみ」になる弊害</td> <td colspan="3">プラスティックごみが生き物に与える影響</td> <td colspan="2">解決の道筋</td> </tr> <tr> <td>本文の要旨</td> <td colspan="3">「永遠のこみ」は、プラスチックごみから作られたプラスチック製品のことです。プラスチック製品は、私たちの生活に欠かせないものですが、その一方で、プラスチックごみの増加は、地球環境に大きな影響を与えています。プラスチックごみは、自然分解されず、長い期間にわたって残ります。また、プラスチックごみの燃焼は、大気汚染の原因となります。プラスチックごみを減らすためには、リサイクルやごみ分別が重要です。</td> <td colspan="3">プラスチックごみが「蓄ったごみ」になる弊害は、ごみ堆積場の不足や、ごみ処理場の埋立限界の到来、さらには、ごみ焼却場の埋立限界の到来などです。また、プラスチックごみの燃焼は、大気汚染の原因となります。プラスチックごみを減らすためには、リサイクルやごみ分別が重要です。</td> <td colspan="3">プラスチックごみが生き物に与える影響は、海洋生物の誤食や、鳥類の誤食による死傷、さらには、プラスチックごみの燃焼による大気汚染などです。また、プラスチックごみの燃焼は、大気汚染の原因となります。プラスチックごみを減らすためには、リサイクルやごみ分別が重要です。</td> <td colspan="2">解決の道筋は、プラスチックごみの削減、リサイクルの推進、ごみ分別の徹底などです。また、プラスチックごみの燃焼による大気汚染の削減も重要です。</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎ワークシート(段落構成図) 本文と資料のつながりを理解し、段落構成図に表すことができている。</p> <table border="1" data-bbox="470 1052 1181 1444"> <thead> <tr> <th colspan="12">【永遠のこみ】プラスティック 段落構成図</th> </tr> <tr> <th>序論</th> <th colspan="3">本論①</th> <th colspan="3">本論②</th> <th colspan="3">本論③</th> <th colspan="2">結論</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>序論の要旨</td> <td colspan="3">プラスティックごみの問題を解決するために私たちにできること</td> <td colspan="3">プラスティックごみが「蓄ったごみ」になる弊害</td> <td colspan="3">プラスティックごみが生き物に与える影響</td> <td colspan="2">解決の道筋</td> </tr> <tr> <td>本文の要旨</td> <td colspan="3">「永遠のこみ」は、プラスチックごみから作られたプラスチック製品のことです。プラスチック製品は、私たちの生活に欠かせないものですが、その一方で、プラスチックごみの増加は、地球環境に大きな影響を与えています。プラスチックごみは、自然分解されず、長い期間にわたって残ります。また、プラスチックごみの燃焼は、大気汚染の原因となります。プラスチックごみを減らすためには、リサイクルやごみ分別が重要です。</td> <td colspan="3">プラスチックごみが「蓄ったごみ」になる弊害は、ごみ堆積場の不足や、ごみ処理場の埋立限界の到来、さらには、ごみ焼却場の埋立限界の到来などです。また、プラスチックごみの燃焼は、大気汚染の原因となります。プラスチックごみを減らすためには、リサイクルやごみ分別が重要です。</td> <td colspan="3">プラスチックごみが生き物に与える影響は、海洋生物の誤食や、鳥類の誤食による死傷、さらには、プラスチックごみの燃焼による大気汚染などです。また、プラスチックごみの燃焼は、大気汚染の原因となります。プラスチックごみを減らすためには、リサイクルやごみ分別が重要です。</td> <td colspan="2">解決の道筋は、プラスチックごみの削減、リサイクルの推進、ごみ分別の徹底などです。また、プラスチックごみの燃焼による大気汚染の削減も重要です。</td> </tr> </tbody> </table>	【永遠のこみ】プラスティック 段落構成図												序論	本論①			本論②			本論③			結論		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	序論の要旨	プラスティックごみの問題を解決するために私たちにできること			プラスティックごみが「蓄ったごみ」になる弊害			プラスティックごみが生き物に与える影響			解決の道筋		本文の要旨	「永遠のこみ」は、プラスチックごみから作られたプラスチック製品のことです。プラスチック製品は、私たちの生活に欠かせないものですが、その一方で、プラスチックごみの増加は、地球環境に大きな影響を与えています。プラスチックごみは、自然分解されず、長い期間にわたって残ります。また、プラスチックごみの燃焼は、大気汚染の原因となります。プラスチックごみを減らすためには、リサイクルやごみ分別が重要です。			プラスチックごみが「蓄ったごみ」になる弊害は、ごみ堆積場の不足や、ごみ処理場の埋立限界の到来、さらには、ごみ焼却場の埋立限界の到来などです。また、プラスチックごみの燃焼は、大気汚染の原因となります。プラスチックごみを減らすためには、リサイクルやごみ分別が重要です。			プラスチックごみが生き物に与える影響は、海洋生物の誤食や、鳥類の誤食による死傷、さらには、プラスチックごみの燃焼による大気汚染などです。また、プラスチックごみの燃焼は、大気汚染の原因となります。プラスチックごみを減らすためには、リサイクルやごみ分別が重要です。			解決の道筋は、プラスチックごみの削減、リサイクルの推進、ごみ分別の徹底などです。また、プラスチックごみの燃焼による大気汚染の削減も重要です。		【永遠のこみ】プラスティック 段落構成図												序論	本論①			本論②			本論③			結論		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	序論の要旨	プラスティックごみの問題を解決するために私たちにできること			プラスティックごみが「蓄ったごみ」になる弊害			プラスティックごみが生き物に与える影響			解決の道筋		本文の要旨	「永遠のこみ」は、プラスチックごみから作られたプラスチック製品のことです。プラスチック製品は、私たちの生活に欠かせないものですが、その一方で、プラスチックごみの増加は、地球環境に大きな影響を与えています。プラスチックごみは、自然分解されず、長い期間にわたって残ります。また、プラスチックごみの燃焼は、大気汚染の原因となります。プラスチックごみを減らすためには、リサイクルやごみ分別が重要です。			プラスチックごみが「蓄ったごみ」になる弊害は、ごみ堆積場の不足や、ごみ処理場の埋立限界の到来、さらには、ごみ焼却場の埋立限界の到来などです。また、プラスチックごみの燃焼は、大気汚染の原因となります。プラスチックごみを減らすためには、リサイクルやごみ分別が重要です。			プラスチックごみが生き物に与える影響は、海洋生物の誤食や、鳥類の誤食による死傷、さらには、プラスチックごみの燃焼による大気汚染などです。また、プラスチックごみの燃焼は、大気汚染の原因となります。プラスチックごみを減らすためには、リサイクルやごみ分別が重要です。			解決の道筋は、プラスチックごみの削減、リサイクルの推進、ごみ分別の徹底などです。また、プラスチックごみの燃焼による大気汚染の削減も重要です。		<ul style="list-style-type: none"> <li>段落ごとの内容が分からない児童には、本文の段落ごとにキーワードと思うものに○をするように促していく。</li> <li>本文と資料①、②のつながりを見つけない児童には、資料①、②でそれぞれ書かれている内容と本文中の似た内容や言葉を見付けさせ、○で囲んだり線を引いたりさせる。</li> <li>意味段落が分からない児童には、書き出しや文末に注目させ、○で囲んだり、線を引いたりさせる。</li> </ul>
【永遠のこみ】プラスティック 段落構成図																																																																																																																										
序論	本論①			本論②			本論③			結論																																																																																																																
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																																																																																															
序論の要旨	プラスティックごみの問題を解決するために私たちにできること			プラスティックごみが「蓄ったごみ」になる弊害			プラスティックごみが生き物に与える影響			解決の道筋																																																																																																																
本文の要旨	「永遠のこみ」は、プラスチックごみから作られたプラスチック製品のことです。プラスチック製品は、私たちの生活に欠かせないものですが、その一方で、プラスチックごみの増加は、地球環境に大きな影響を与えています。プラスチックごみは、自然分解されず、長い期間にわたって残ります。また、プラスチックごみの燃焼は、大気汚染の原因となります。プラスチックごみを減らすためには、リサイクルやごみ分別が重要です。			プラスチックごみが「蓄ったごみ」になる弊害は、ごみ堆積場の不足や、ごみ処理場の埋立限界の到来、さらには、ごみ焼却場の埋立限界の到来などです。また、プラスチックごみの燃焼は、大気汚染の原因となります。プラスチックごみを減らすためには、リサイクルやごみ分別が重要です。			プラスチックごみが生き物に与える影響は、海洋生物の誤食や、鳥類の誤食による死傷、さらには、プラスチックごみの燃焼による大気汚染などです。また、プラスチックごみの燃焼は、大気汚染の原因となります。プラスチックごみを減らすためには、リサイクルやごみ分別が重要です。			解決の道筋は、プラスチックごみの削減、リサイクルの推進、ごみ分別の徹底などです。また、プラスチックごみの燃焼による大気汚染の削減も重要です。																																																																																																																
【永遠のこみ】プラスティック 段落構成図																																																																																																																										
序論	本論①			本論②			本論③			結論																																																																																																																
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																																																																																															
序論の要旨	プラスティックごみの問題を解決するために私たちにできること			プラスティックごみが「蓄ったごみ」になる弊害			プラスティックごみが生き物に与える影響			解決の道筋																																																																																																																
本文の要旨	「永遠のこみ」は、プラスチックごみから作られたプラスチック製品のことです。プラスチック製品は、私たちの生活に欠かせないものですが、その一方で、プラスチックごみの増加は、地球環境に大きな影響を与えています。プラスチックごみは、自然分解されず、長い期間にわたって残ります。また、プラスチックごみの燃焼は、大気汚染の原因となります。プラスチックごみを減らすためには、リサイクルやごみ分別が重要です。			プラスチックごみが「蓄ったごみ」になる弊害は、ごみ堆積場の不足や、ごみ処理場の埋立限界の到来、さらには、ごみ焼却場の埋立限界の到来などです。また、プラスチックごみの燃焼は、大気汚染の原因となります。プラスチックごみを減らすためには、リサイクルやごみ分別が重要です。			プラスチックごみが生き物に与える影響は、海洋生物の誤食や、鳥類の誤食による死傷、さらには、プラスチックごみの燃焼による大気汚染などです。また、プラスチックごみの燃焼は、大気汚染の原因となります。プラスチックごみを減らすためには、リサイクルやごみ分別が重要です。			解決の道筋は、プラスチックごみの削減、リサイクルの推進、ごみ分別の徹底などです。また、プラスチックごみの燃焼による大気汚染の削減も重要です。																																																																																																																

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">思考・判断・表現</p>	<p>「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 (C (1) オ)</p>	<p>◎スプレッドシート 文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを形成し、【プラスチックのイメージ】[「永遠のごみ」プラスチックを読んで分かったこと][読んで分かったことに対しての自分の考え][自分の体験や調べたこと※調べたことの出典][決意(取り組んでいくこと)]にまとめることができている。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【プラスチックのイメージ】</b> プラスチックは軽くて丈夫で便利なものであるイメージだけであったが、これまでの勉強でプラスチックがごみとなり、他の生き物に影響を与えているものになって問題となっているイメージが強くなった。このプラスチックごみの問題をどうにかしたいという思いも強くなった。</p> <p><b>【「永遠のごみ」プラスチックを読んで分かったこと】</b> プラスチックは私たちの生活に欠かせないものであるが、使い方や捨て方によっては永遠のごみとなることが分かった。またこれからは、地球の環境を汚さないプラスチックの使い方や捨て方をみんなで考えて行動に移していくことが大切であることも分かった。</p> <p><b>【読んで分かったことに対しての自分の考え】</b> 私も自分の住む竹原市でプラスチックのごみが増えない対策をしていかないといけないと思った。なぜそう思ったかというと竹原市のコンビニや自動販売機横のごみ箱にはいつもたくさんペットボトルのごみが捨てられていたからである。</p> <p><b>【自分の体験や調べたこと※調べたことについての出典】</b> 京都府京都市では、プラスチックごみの削減のためにマイボトルを使えるお店や給水スポットの情報などをインターネットで発信することに取り組んでいる。マイボトルを持ち歩こうと呼びかけたり、市内の公共施設に給水スポットを設置したりもしている。 ※「海のプラスチックごみ調べ大辞典」(保坂直紀 著・出版社名)</p> <p><b>【決意(自分が取り組んでいくこと)】</b> だから私もこれから外出する際に水筒を持ち歩くことを意識していく。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをもちにくい児童には、筆者の主張に関連する資料を紹介し、自分にもできそうなことを見つけることができるようにする。</li> <li>・入力する内容が思いつかない児童へは、ノートや教室の掲示物を見返すように声をかけ、学習してきたことや自分の思いを想起させることができるようにする。また、同じところで悩んでいる児童を集め、できているところまでを共有し合い、教師や友達からのアドバイスを生かして自分の考えをまとめることができるようにしていく。</li> <li>・スプレッドシートでも、ワークシートでも書きやすい方を選択できるようにする。</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>進んで文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをもち、学習課題に沿って、自分の考えをまとめようとしている。</p>	<p>◎児童の学習の姿 プラスチックのごみ問題に対して自分にできることを考えたりまとめたりする際に、教材文を読み返したり、資料等から情報を収集したりして進んでまとめようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをまとめたり見直したりすることが難しい児童には、教室の掲示物やノートを見返すように声をかけ、海水浴場でのごみ拾いで感じたことを思い出させたり、これまでにまとめたワークシートや段落構成図等をもとに、自分にできそうなことを考えさせたりする。</li> </ul>

5 指導と評価の計画（全8時間）

次	時	学 習 内 容	評 価			
			知	思	主	評価規準・評価方法 等
一	1	<p>○学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りには、どんなプラスチック製品があるのか考える。</li> <li>・「〇(な)もの」プラスチックの〇〇に言葉を入れ、プラスチックのイメージを考える。</li> <li>・プラスチックについての映像資料 NHK for school「地球は放置しても育たない～放置しないで！プラスチックごみ問題」を視聴し、プラスチックごみについて考える。</li> <li>・単元の活動目標を設定する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     プラスチックごみの問題解決のために、自分たちにできることを考え、発信しよう。                 </div>				
二	2	<p>○教材文を読んで文章の構成・筆者の主張を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイトルの「「永遠のごみ」プラスチック」とは、どういう意味なのか考える。</li> <li>・序論・本論・結論に分ける。</li> <li>・筆者の主張の部分はどこなのか考える。</li> </ul>				
	3	<p>○事実と感想、意見などとの関係を押さえるとともに、文章全体の構成を踏まえて要旨を把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各段落の内容を段落構成図にまとめる。</li> </ul>	○			[知識・技能] ワークシート(段落構成図) 本文が序論、本論、結論の構成になっていることや事実と感想、意見などとの関係を理解し、段落構成図に表すことができてきているかの確認。
	4	<p>○本論①、②の内容と要旨のつながりを整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本論①にプラスチックごみが生き物に与える悪い影響について書かれていることを理解する。</li> <li>・本論②にプラスチックごみが「困ったゴミ」になる理由について書かれていることについて事例をもとに理解する。</li> </ul>				
	5	<p>○本論③の内容と要旨のつながりを整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本論③にプラスチックごみの問題を解決するために私たちにできることについて理解する。</li> </ul>				

二	6  7 (本時)	<p>○資料と教材文の関連付けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料①・②がそれぞれどのような情報を伝えようとしているのかをとらえさせる。</li> <li>資料①・②はどこの段落とつながっているのか考え、段落構成図へ本文(本論①、本論②)と資料①と資料②のつながりを書き加える。</li> </ul> <p>○自分の考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の主張に対して自分にできることを考え、スプレッドシートを活用してまとめる。</li> </ul>	○	○	<p>[知識・技能] ワークシート(段落構成図) 本文と資料のつながりを理解し、段落構成図に表すことができてきているかの確認。</p> <p>[思考・判断・表現] スプレッドシート 文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを形成し、[プラスチックのイメージ][「永遠のごみ」プラスチックを読んで分かったこと][読んで分かったことに対しての自分の考え][自分の体験や調べたこと※調べたことの出典][決意(取り組んでいくこと)]にまとめることができてきているかの確認。</p>
三	8	<p>○学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前回まとめた文章を見直し、修正する。</li> <li>スプレッドシートを活用して友達と考えを共有し合い、感じたことを振り返りシートに記入する。</li> <li>単元全体の振り返りをする。</li> </ul>		○	<p>[主体的に学習に取り組む態度] 行動観察・スプレッドシート プラスチックのごみ問題に対して自分にできることを考えたりまとめたりする際に、教材文を読み返したり、資料等から情報を収集したりして進んでまとめようとしているかの確認。</p>

6 本時の学習

(1) 本時の目標

文章の内容と自分の経験や調べたことを結び付けながら筆者の主張に対して自分の考えをまとめることができる。

(2) 学習の展開

学習活動	○指導上の留意点 □主な発問 ・予想される児童の反応 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準 (評価方法)
<p>1 筆者の主張を確認する。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<p>□筆者は、私たちに何を伝えたかったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチックごみがどのような問題をおこしているのか。</li> <li>・プラスチックごみの問題に対してできることがあること。</li> <li>・プラスチックごみの問題について一人一人が何かできることを考えてほしい。</li> </ul> <p>○「プラスチックごみの問題を解決するために私たちにできること」が筆者の主張であることを確認する。</p> <p>□筆者の主張にあるように自分にできることは何か考えたことをまとめよう。</p> <p>○単元の活動目標を振り返り、[決意]のところで自分がすることに加え、他者への働きかけも必要であることも押さえる。</p>	
<p>筆者の主張に対する自分の考えをまとめよう。</p>		
<p>3 教材文に出会う前と今のプラスチックに対するイメージを交流する。</p>	<p>□この単元に入る前と後でプラスチックごみのイメージは変わりましたか。変わった人はどのように変わりましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチックは軽くて丈夫で便利なものであるイメージだったけど、これまでの勉強でプラスチックがごみとなり、他の生き物に影響を与えているものになって問題となっているイメージが強くなった。</li> <li>・プラスチックと聞いて、プラスチックごみが大量に発生して問題になっていることは最初から知っていたけど、今回勉強して自分の体内にマイクロプラスチックが入っている可能性があること知り、怖くなった。この問題を早くどうにかしないといけない問題だと強く感じた。</li> </ul>	
<p>4 自分たちにできることを交流する。</p>	<p>□プラスチックのごみ問題に対してマイナスイメージが多い中で、自分たちにできることは何でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出かける際には、ペットボトルの商品を買わないように水筒を持って行くようにし、プラスチックごみが増えないようにしていきたい。</li> <li>・海の清掃ボランティアに参加したい。</li> </ul>	

<p>5 自分の考えを文章にまとめる。</p> <p>6 振り返りをする。</p>	<p>○自分の考えをまとめる際にスプレッドシートを活用してまとめる。その際、スプレッドシートにある[プラスチックのイメージ(授業の前と後)][「永遠のごみ」プラスチックを読んで分かったこと][読んで分かったことに対する自分の考え][自分の体験や調べたこと※調べたことについての出典名][決意(取り組んでいくこと)]の5つの内容を必ず入れてまとめることを確認する。</p> <p>○スプレッドシートを活用して友達の入力した情報を共有し合い、自分の考えを見直したりすることができるようにする。</p> <p>◆どのように文章に表して入力するかイメージがわからない児童へは、友達の書き出しを参考にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○○さんの読み取ったことに対する自分の考えの書き方が分かりやすい。ちょっと自分の入力した文章も真似して直してみよう。</li> </ul> <p>○次時は文章にまとめたことをクラスの友達と読み合うことを伝え、次時の見通しをもたせる。</p>	<p>[思考・判断・表現] スプレッドシート</p> <p>文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを形成し、[プラスチックのイメージ][「永遠のごみ」プラスチックを読んで分かったこと][読んで分かったことに対する自分の考え][自分の体験や調べたこと※調べたことの出典][決意(取り組んでいくこと)]にまとめることができているかの確認。</p>
-------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(3) 板書計画

<p><b>ふりかえり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんなことを意識して学習したか。</li> <li>・どのような学び方をしたか。</li> </ul>	<p>自分の体験や調べたこと※調べたことについての出典名 決意取り組んでいくこと</p>	<p><b>自分の考えをまとめるとき(スプレッドシート)</b></p> <p>プラスチックのイメージ</p> <p>「永遠のごみ」プラスチックを読んで分かったこと 読んで分かったことに対する自分の考え</p>	<p><b>単元の活動目標</b></p> <p>プラスチックごみの問題解決のために、自分たちができることを考え、発信しよう。</p>	<p><b>筆者の主張</b></p> <p>プラスチックごみの問題に対して知り一人一人が考え、行動に移していくこと。</p>	<p>筆者の主張に対して自分の考えをまとめよう。</p>	<p>「永遠のごみ」プラスチック 保坂 直紀</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------	------------------------------	----------------------------



## イ 教材

- 本文全体を見ることができるよう本文を1枚のシートにまとめて配布した。本文と資料とのつながりを考える際にも模造紙に1枚ものにした本文と資料を貼り、本文と資料の似た内容や言葉を見付けて○で囲んだり、線を引いたりすることができるようにした。
- 文章を修正する際の利便性や友達と自分の考えを共有しやすいこと、また友達と自分の文章を比較しやすいことから、成果物作成時には、スプレッドシートを使用した。



こちらの写真のように本文を1枚のシートにまとめたことで、本文と資料比較がしやすくなったり、似た内容や言葉を見付けて○で囲んだり、線を引いたりすることがしやすくなった。

## ウ 板書・掲示・ふりかえり

- 前時のふりかえりや自分の考えをまとめる時の材料となるように、毎時間の学習の内容を模造紙にまとめ、教室内に掲示した。

児童の活動をこのように模造紙にまとめ、教室に掲示しました。自分の考えをまとめる際に、児童は、模造紙に書かれている内容を読み、自分の考えに取り入れている児童が多く見られました。



- 児童が作成した段落構成図を教室に掲示し、教材文の文章構成を文章の内容理解と関連させながら理解していけるようにした。

このように段落構成図を教室に掲示したことで、文章構成がどうだったか迷った時に掲示した段落構成図を見て確認している姿が多く見られた。



- 教室の様々なところにプラスチックに関する図書資料コーナーを設置し、プラスチックごみ問題に対して自分の考えをまとめる際に自分の決意に対して妥当性をもたせたり、自分の決意を確かなものにしたることができるようにした。

こちらの写真のような図書資料コーナーを設置したことで多くの児童が図書資料を活用し、自分の決意に対して妥当性をもってまとめることができていた。



- ・ 総合的な学習の時間の単元の導入で活動目標を「プラスチックごみの問題解決のために、自分たちにできることを考え、発信しよう。」と設定した。その目標を児童が達成することができるように、国語科で自分の考えをまとめ、総合的な学習の時間でスライドを用いて、下学年に自分の考えを伝える場面を設定した。



こちらの写真のように総合的な学習の時間の活動目標を、国語科で学んだことを生かして達成させることができた。教科横断的な単元計画を組むことで児童の達成感につながった。

## (2) 児童のつまずきと実際に講じた手立ての具体

- ・ 本学級には、日本語指導を必要とする児童が2名在籍している。この2名は、日本語で自分の考えを文章化して表現することが難しい。そのため、事前に、形成した考えを記述させるスプレッドシートに例文を載せておき、その例文の表現を用いながら自分の考えをまとめていけるようにした。
- ・ 「4 単元の評価規準〈評価の具体及び手立て〉」及び「6 本時の学習 (2) 本時の展開」においても前述のとおり、自分の考えをまとめていく際には、[プラスチックのイメージ][「永遠のごみ」プラスチックを読んで分かったこと][読んで分かったことに対する自分の考え][自分の体験や調べたこと ※調べたことの出典][決意(取り組んでいくこと)]の項目に分けて記述させた。しかし、[「永遠のごみ」プラスチックを読んで分かったこと][読んで分かったことに対する自分の考え]の2項目を分けて記述できず、同じような内容になってしまう児童がいた。そのため、両項目の内容を1項目にまとめて記述してもよいことや、項目の順序を変えてもよいことを助言した。
- ・ タイピングに不慣れであるなど、スプレッドシートを活用して自分の考えをまとめることに困難さを見せた児童へは、ノートやワークシート、スライドなど、まとめやすい方法を選択できるようにした。
- ・ まとめるべき考えそのものが思いつかない児童へは、ノートや教室の掲示物を見返すように声をかけ、学習してきたことや自分の思いを想起させることができるようにしていった。
- ・ まとめる際にどのように表現してよいか分からない児童へは、同じところで悩んでいる児童同士で他者参照できるようにするとともに、教師や友達からのアドバイスを生かして自分の考えをまとめることができるようにしていった。



思考・判断・表現

「十分満足できる」状況(A)  
 ◎スプレッドシート  
 文章を読んで理解したことに基  
 づいて自分の考えを形成し、[プ  
 ラスチックのイメージ][「永遠のご  
 み」プラスチックを読んで分かつた  
 こと][読んで分かつたことに対  
 しての自分の考え][自分の体験や  
 調べたこと ※調べたことの出  
 典][決意(取り組んでいくこと)]に  
 自分の行動と他者への働きかけの  
 両方の視点を踏まえてまとめるこ

プラスチックのイメージ	プラスチックは、いろいろなものに使われていて便利だからいいイメージばかりだったけど、読んでからは、プラスチックは必要だけど海や人に悪い影響を与えているしマイクロプラスチックというのもありプラスチックはいいイメージばかりではなくなりました。
「永遠のごみ」プラスチックを読んで分かつたこと	マイクロプラスチックを小魚が食べて、その魚を大きい魚が食べて、更に大きい魚が食べるとそれを食べたりする自分たちの体の中にもプラスチックが入るかもしれないけど、自分たちのせいでこうなっているから自分たちにできることをしないとダメだと思いました。
読んで分かつたことに対しての自分の考え	自分たちの体の中にもプラスチックが入るかもしれないと思うと、プラスチックを使いたくないようにしようと思いました。また、家族などにもこの状況を伝えて自分たちにできることをしようと思いました。
自分の体験や調べたこと ※調べたことについての出典	群馬県では小中学校でゴミ減量を目的とした授業を展開しています。他にも、山口県では毎年7月に全地域で河川海岸一斉掃除等を実施し、いろいろな取組をしているそうです。 海のプラスチックゴミ調べ大辞典
決意(自分が取り組んでいくこと)	この状況を家族に知らせ、プラスチックを使いたないようにし、地域でやっている取り組みにも参加してみたいと思いました。また、外出時には、マイバッグやマイボトルを持ち歩こうと思いました。

「決意」のところでは「読んで分かつたこと」や「自分の体験や調べたこと」とつなげて、自分の行動と他者への働きかけの両方の視点を踏まえてまとめることができている。

- ・「地域でやっている取組に参加したい」  
⇒他者への働きかけ
- ・「マイバッグやマイボトルを持ち歩く」  
⇒自分の行動

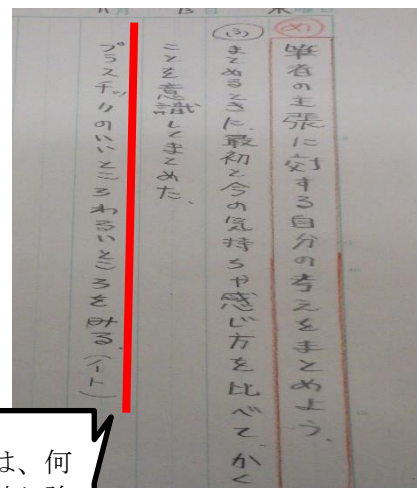
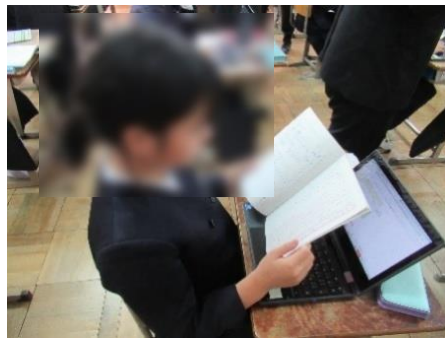
「おおむね満足できる」状況(B)  
 ◎スプレッドシート  
 文章を読んで理解したことに基  
 づいて自分の考えを形成し、[プ  
 ラスチックのイメージ][「永遠のご  
 み」プラスチックを読んで分かつた  
 こと][読んで分かつたことに対  
 しての自分の考え][自分の体験や  
 調べたこと ※調べたことの出  
 典][決意(取り組んでいくこと)]に  
 まとめることができている。

プラスチックのイメージ	プラスチックはたくさんものに使われているほどとても便利です。ところが私達が海にポイ捨てや不法投棄などをすると、鳥たちが間違えて食べたり、波の力でマイクロプラスチックになって、魚が間違えて食べたりするなど、行動次第でいろんな生き物に悪い影響を与えます。
「永遠のごみ」プラスチックを読んで分かつたこと	永遠のゴミプラスチックを読んで、プラスチックは生き物に悪い影響を与える事がわかりました。しかしプラスチックは私達の生活に欠かせないけど、とても便利で、そう簡単に解決できないこともわかりました。
読んで分かつたことに対しての自分の考え	筆者の主張のように、私達みんなが行動していかないと、今を変えられないということがわかりました。だから私は、少しでも生き物たちがプラスチックごみで困らないように取り組んでいきたいと思いました。
自分の体験や調べたこと ※調べたことについての出典	神奈川県ではレジ袋の使用量を減らすために、レジ袋不要カードがあります。このカードを会計時にレジの人に渡すとレジ袋を使わないということを伝えられるので、レジ袋の使用量を減らす事ができるのです。 ※「清掃工場・リサイクル施設図鑑」(海澤真一)
決意(自分が取り組んでいくこと)	だから私は水筒やマイバッグを持ち歩いて外出して自分ができることをやりたいと思いました。

項目ごとに自分の考えをまとめることができている。「決意」のところでは「読んで分かつたこと」や「自分の体験や調べたこと」とつなげて、自分の行動を考えてまとめることができている。

- ・「水筒やマイバッグを持ち歩いて」  
⇒自分の行動

「十分満足できる」状況(A)  
 ◎児童の学習の姿  
 プラスチックのごみ問題に対し  
 て自分にできることを考えたりま  
 とめたりする際に、自ら教材文を  
 読み返したり、資料等から複数の  
 情報を収集したりして進んでまと  
 めようとしている。



写真のように、自分の考えをまとめる際に自ら教科書を見返す児童もいた。

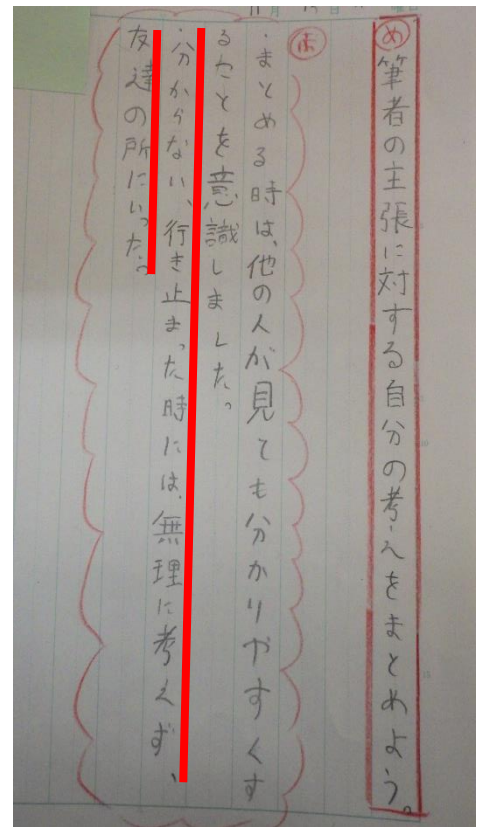
どのようにまとめるか悩んだ時には、何度も教科書やノートに立ち返って粘り強く学習を進めていた。

「おおむね満足できる」状況(B)

◎児童の学習の姿

プラスチックのごみ問題に対して自分にできることを考えたりまとめたりする際に、教材文を読み返したり、資料等から情報を収集したりして進んでまとめようとしている。

こちらの児童は、自分の考えはあるが、文章にすることが難しく、教科書やノート、掲示物を見るように声をかけたが、スプレッドシートの機能を活用し、友達の似たような考えの文章を参考にして自分の考えをまとめていた。結果、友達と同じような文章になってしまったとも振り返っていた。教科書やノート、資料等に立ち返りながら自分の考えをまとめることができるようになることも必要だと評価している。



(2) 児童の評価

本単元を終えて、知識・技能「文章の構成や展開について理解している。((1)カ)」における「十分満足できる」状況(A)の児童は4人、「おおむね満足できる」状況(B)の児童は8人、「努力を要する」状況(C)の児童は4人だった。

思考・判断・表現「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめていること」における「十分満足できる」状況(A)の児童は4人、「おおむね満足できる」状況(B)の児童は8人、「努力を要する」状況(C)の児童は4人だった。

主体的に学習に取り組む態度「進んで文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをもち、学習課題に沿って、自分の考えをまとめようとしている。」における「十分満足できる」状況(A)の児童は3人、「おおむね満足できる」状況(B)の児童は1人、「努力を要する」状況(C)の児童は2人だった。

9 成果と課題

(1) 成果

- ・ 総合的な学習の時間と関連させて地域の海辺のごみ拾いを行うなど、体験活動を通して自分たちの住む地域のプラスチックごみ問題について知ることができ、教材文の内容に対してより課題意識をもって学習を進めることができた。教科の学習を横断的に進めていくことで、児童が教材文に書かれているプラスチック問題を身近に感じながら学習を進めることができた。教材文が提起している問題を自分事として捉えられたことは、児童が文章に対する考えを形成するにあたって大変有効であった。
- ・ 毎時間の学習の内容を模造紙にまとめ、教室内に掲示したことで、前時のふりかえりや自分の考えをまとめる時の材料となっていた。
- ・ 単元を進める中で段落構成図など、個人で考えたことを踏まえ、班に教材文を拡大したものを配付して協力してまとめる活動を行ったことで、より主体的で協働的な学びを促すことができた。

(2) 課題

- ・ 知識・技能「文章の構成や展開について理解している。((1)カ)」において「努力を要する」状況(C)の児童4人は、そもそも段落構成図とは何なのか、何を整理するものなのかについて理解ができていなかった。これまでの国語科の授業の中で、説明的な文章の段落構成を個人でまとめていく経験が少なかったのではないかと考える。また、系統的に、「総括型」や「頭括型」など、文章構成の知識を児童が得られるよう、指導していかなければならないと考えている。
- ・ 思考・判断・表現「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめていること」における「努力を要する」状況(C)の児童4人は、スプレッドシートを活用して自分の考えをまとめている際に、自分の考えをもっていたにも関わらず、それを文

化することが難しい状況だった。その中には、日本語指導を必要とする児童が2名いたため、個別に日本語訳機能を活用してまとめることを伝えたり、箇条書きや母国語でもよいことを伝えたりするなどの支援も必要であったと考える。また、日本語指導を担当する教員とも連携し、教材文と一緒に読む時間や自分の考えをあらかじめ一緒に考えたりする時間を設けるなどの支援も必要であったと考える。あとの2名も時間が足りず、文章をその場で考えてまとめていくことが難しい状況であったため、[プラスチックのイメージ][自分の体験や調べたこと]などについては、前時までの各時間のまとめとして記述させておく支援を個別に行うことも必要であったと考える。

- 主体的に学習に取り組む態度「進んで文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをもち、学習課題に沿って、自分の考えをまとめようとしている。」において「努力を要する」状況(C)の児童2人については、自分の考えをまとめていく際に、本文に戻って自分の考えをまとめていく姿が見られなかった。授業中に教科書に立ち返り、自分の考えをまとめている児童が見られた時には、なぜ教科書を活用したのか全体で取り上げて紹介しながら教科書の本文に立ち返ることの必要性にも気づかせていく必要があると感じている。また、日頃から国語科の説明的な文章の考えの形成をしていく際に教科書を読み返してまとめていくことが大切であることをもっと伝えていく必要があると考えた。

### (3) 今後に向けて

- 説明的な文章の学習を通して児童が自分の考えを形成していくことをもっと多くの児童ができるようにするために、どのような姿を目指していくのか評価基準を具体的に考えたうえで、単元計画を考えていく必要がある。
- 説明的な文章で段落構成図に個人でまとめていく活動を意識して行っていく。また、総括型や頭括型など学年に応じて文章構成の理解、定着に向けて意識して指導していく。
- 教科用図書における次の単元が「発信しよう、私たちのSDGs」という「書くこと」のものである。本単元とのつながりを考慮すると、SDGsの視点を踏まえてプラスチック問題の解決に向けて文章を書くことが、児童の思考の流れからも自然であった。年間指導計画を見直し、児童が思考しやすい単元を計画できるようにしていく。

### 付録 選書リスト

書名	著者名	出版社名
くじらのおなかからプラスチック	保坂 直紀	旬報社
海のプラスチックごみ調べ大事典 なぜ? どうしたら? プラごみ問題がゼロからわかる!	保坂 直紀	旬報社
ごみから考えるSDGs 未来を変えるために、何ができる?	織 朱實/監修	PHP 研究所
国谷裕子とチャレンジ!未来のためのSDGs 1 「人間」に関するゴール	国谷 裕子/監修	文溪堂
国谷裕子とチャレンジ!未来のためのSDGs 2 「豊かさ」に関するゴール	国谷 裕子/監修	文溪堂
国谷裕子とチャレンジ!未来のためのSDGs 3 「地球」に関するゴール	国谷 裕子/監修	文溪堂
追跡!ごみのゆくえ ペットボトル	吉田 忠正/文・写真 辻 芳徳/監修	ほるぷ出版
イチからつくるプラスチック	岩田 忠久/編 内 田かずひろ/絵	農山漁村文化協会
地球が危ない!プラスチックごみ1 海洋プラスチック 魚の量をこえる!?	幸運社/編	汐文社
地球が危ない!プラスチックごみ2 日本中にあふれるプラスチック	幸運社/編	汐文社
地球が危ない!プラスチックごみ3 みんなで減らそう!プラスチック	幸運社/編	汐文社

ごみについて調べよう1 Reduce・リデュース ごみを出さない・減らす	岡山 朋子／監修	あかね書房
ごみについて調べよう2 Reuse・リユース くりかえし使う	岡山 朋子／監修	あかね書房
ごみについて調べよう3 Recycle・リサイクル 資源として再利用する	岡山 朋子／監修	あかね書房
プラスチック惑星・地球	藤原 幸一／写真と文	ポプラ社
清掃工場・リサイクル施設図鑑	梅澤 真一／監修	金の星社